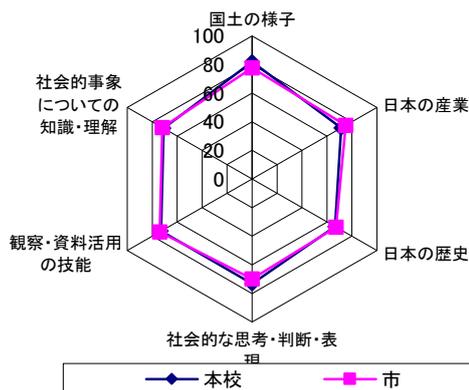


宇都宮市立清原北小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	82.0	77.6	77.6
	日本の産業	71.4	75.1	67.5
	日本の歴史	66.5	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	73.2	69.7	64.7
	観察・資料活用 の技能	72.8	73.8	68.5
	社会的な事象 についての知識・理解	70.9	72.0	67.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○国土の様子について、「日本の国土や位置」「地域ごとでのくらしの工夫」では、平均正答率が市の平均を上回っており、地形や気候について一定の成果が見られる。 ●「日本周辺の海洋名」「日本周辺の国の国旗」については平均正答率が市平均を下回っており、課題が見られる。	・日本とかかわりの深い国について調べたり、写真資料や気候のグラフなどを活用したりして周辺の国への関心を高める ・世界地図などを活用して、島国日本の地理的特徴を理解させる。
日本の産業	○「日本の工業生産」では自動車生産の工程について100%の正答率であった。 ●「日本の食糧生産」「日本の工業の移り変わり」には、平均正答率が市平均を下回っており、資料を活用して考察し、理由を記述することに課題が見られる。	・日本の食料生産がかかえる問題や、食料を安定して確保するための工夫について、資料からわかることを自分の言葉で表現する活動を重視する。 ・自動車をはじめ、様々な工業製品が自分たちの生活を支えていることを実際の生活と関係させながら指導する。
日本の歴史	○「鎌倉時代～室町時代」では、平均正答率が市平均を上回っており、武士による政治の始まりや室町時代の文化について一定の成果が見られる。 ●「縄文時代～平安時代」では、平均正答率が市平均を下回っており、卑弥呼や聖徳太子などの政治に関して課題が見られる。	・各時代ごとの人物が、それぞれどのような政治を行ったかを、資料と関連付けながらノート等に整理させる。 ・明治時代～平成時代など、現在に近いこの時代のごときは、自分たちの生活にどのような影響をあたえたかを考ながら指導する。